

令和4年度（2022年度）

管理事業名	議会事業				総合計画 の体系	大綱 1	人権・市民自治		
						政策 2	市民自治によるまちづくり		
						施策 1	情報共有の推進		
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 1	議会費	(項) 1	議会費	(目) 1	議会費		
部局名	議会事務局	予算執行 所属	議会事務局						
事業の目的と概要 市民の代表である議員及び議会がその権能を最大限に発揮できるよう、議会運営、市政調査、議会広報、議長公務等を補佐するとともに、議員報酬、政務活動費等の支出業務を行う。また、この議会活動などを通じて、市民の市政への関心を高めることも目的の一つとしている。 なお、議会事業としては、議員報酬等の支給、本会議録及び常任・特別委員会記録等の作成、会議録をインターネットで公開するシステムの運用、議会広報紙の作成、本会議映像等のインターネット配信、議会傍聴時の一時保育及び手話通訳者の派遣、議員専用のグループウェア及びタブレット端末の運用を行っている。									

I 成果指標（活動指標）

指標名	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	指標の定義
議会だより発行部数	部	1,100,000	1,117,150	1,134,700	地域の世帯等に配付している議会だよりの発行部数
インターネット放映アクセス件数	件	9,564	9,095	9,646	本会議等のインターネット放映のアクセス件数
—					
—					

II 活動実績・成果

<p>【成果指標1】議会だより発行部数についての評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配付部数 1,134,700部（前年度比：17,550部の増） ・配付部数の増は、市の人口増によるもの。 <p>【成果指標2】インターネット放映アクセス件数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクセス件数 9,646件（前年度比：551件の増） ・アクセス件数の増は、インターネット放映の生中継において、音声認識エンジンを既存システムに導入し、リアルタイムで映像に字幕を表示できるようにすることで、聴覚等に障がいのある方への合理的配慮を行い、サービスの向上を図ったこと等によるもの。 <p>・両成果指標ともに議会だより、本会議放映等の多様な媒体を活用し、より広く市民に議会の情報を提供することで、市民の市政への参画意識の向上につなげている。</p> <p>【財務情報に基づいた評価】</p> <p>総事業費のうち、約9割を給与関係費が占めており、次に、負担金・補助金・交付金等、物件費の順になっている。</p> <p>また、物件費のうち、約4割を占めるのは、議会だよりの発行及び本会議のインターネット中継に係る費用となっている。</p>	
--	--

III 課題と今後の取組

<p>市議会議員が市民意見を的確に把握し市政に反映するためには、議員活動を充実させる必要があり、そのためには給与関係費である議員報酬及び補助金である政務活動費について、一定の水準を維持する必要がある。</p> <p>また、吹田市議会として北摂、大阪府、近畿、中核市及び全国の市議会議長会等に参加し、多くの市議会の動向を的確に把握するとともに、議長会の構成団体が団結することで、国等への要望においても大きな成果が期待できることから、議長会活動の資本となる負担金の支出は必要である。</p>	<p>このような議会運営上、必要不可欠な給与関係費や負担金・補助金・交付金等が経常経費の9割以上を占めるため、経費削減が困難な状況となっているが、限られた財源の中で、議会広報（議会だよりの発行、本会議のインターネット中継等）の事業などを、より効果的、効率的に実施できるように努めていく。</p>
---	---

IV 財務情報

◆貸借対照表【BS】

(単位：千円)

勘定科目	令和3年度末 A	令和4年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度末 A	令和4年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	10,431	11,300	869
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	10,431	11,300	869
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	固定負債	104,100	103,856	△244
土地	-	-	-	地方債	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	長期借入金	-	-	-
リース資産	-	-	-	退職手当引当金	104,100	103,856	△244
建設仮勘定	-	-	-	リース債務	-	-	-
無形固定資産	1,083	1,083	-	その他固定負債	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	負債の部合計	114,531	115,156	625
土地	-	-	-	純資産	△113,448	△114,073	△625
建物・工作物	-	-	-				
建設仮勘定	-	-	-				
重要物品	0	0	-				
図書館資料	-	-	-				
投資その他の資産	-	-	-				
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-	純資産の部合計	△113,448	△114,073	△625
その他債権	-	-	-	負債及び純資産の部合計	1,083	1,083	-
資産の部合計	1,083	1,083	-				

◆行政コスト計算書【PL】

(単位：千円)

勘定科目	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
経常収入				
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	280	280	277	△3
府支出金(経常費用充当)	140	139	137	△2
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	341	334	333	△2
経常収入 小計(a)	761	753	747	△7
経常費用				
給与関係費	614,239	637,776	625,374	△12,402
物件費	24,901	41,495	30,308	△11,187
維持補修費	-	-	50	50
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	35,750	32,604	37,662	5,058
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	296	271	-	△271
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	11,832	10,431	11,300	869
退職手当引当金繰入額	6,247	6,094	8,954	2,860
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	693,264	728,672	713,648	△15,024
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△692,503	△727,918	△712,901	15,017
特別収入				
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用				
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別費用 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△692,503	△727,918	△712,901	15,017
一般財源充当額	696,170	731,732	712,276	△19,456
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	3,667	3,814	△625	△4,439

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表【CF】

(単位：千円)

区分	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	761	753	747	△7
行政サービス活動支出	696,931	732,485	713,023	△19,463
行政サービス活動収支差額	△696,170	△731,732	△712,276	19,456
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△696,170	△731,732	△712,276	19,456
一般財源充当額	696,170	731,732	712,276	△19,456
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

財務諸表の特徴的な事項

勘定科目等	特徴的な事項
【PL】 給与関係費	令和4年10月9日に1人の議員が辞職したことに伴う、議員報酬及び議員期末手当の支給額の減
【PL】 物件費	本会議放映の生中継において、リアルタイムで映像に字幕を表示できるようにする機能の追加に伴う増 671千円
【PL】 負担金・補助金・交付金等	政務活動費 36,297千円

単位当たりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」÷「実績」)

単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
市民一人当たり	コスト 1,840円	コスト 1,924円	コスト 1,872円
りのコスト	実績 376,944人	実績 378,781人	実績 381,238人
	円	円	円
	実績		

令和5年3月末現在の吹田市人口で算出すれば、市民一人当たり約1,872円のコストが掛かっている。なお、前年度は本会議放映システム用機器等の更新経費を含んでいたこと、また、令和4年度は、議員1人が辞職したことに伴い、議員報酬等の執行額が減少した等の理由により、前年度よりコストが減少した。

人にかかるコストの内訳

	給与関係費等(千円)	うち時間外手当等(千円)	月平均従事人数(人)
常勤・再任用	155,542	7,705	17.83
会計年度任用等	7,699		
特別職非常勤	482,387		
合計	645,628		

分析指標

(単位：%)

分析指標	年度	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差 B-A
施設老朽化比率		-	-	-	-
施設維持補修費比率		-	-	-	-
経常費用対公共資産比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
受益者負担比率		-	-	-	-
一般財源充当比率		99.9	99.9	99.9	0.0